

科学技術・学術審議会

研究計画・評価分科会 航空科学技術委員会

第2回 静粛超音速機技術の研究開発 推進作業部会

ANA | A STAR ALLIANCE MEMBER ☆

機種選定における エアラインの視点

平成18年12月21日

全日本空輸株式会社

事業展開と機種選定



➤ 事業計画への対応

- ビジネスチャンス(羽田再拡張等)での規模拡大
- 機材サイズ(需給適合)による構造転換

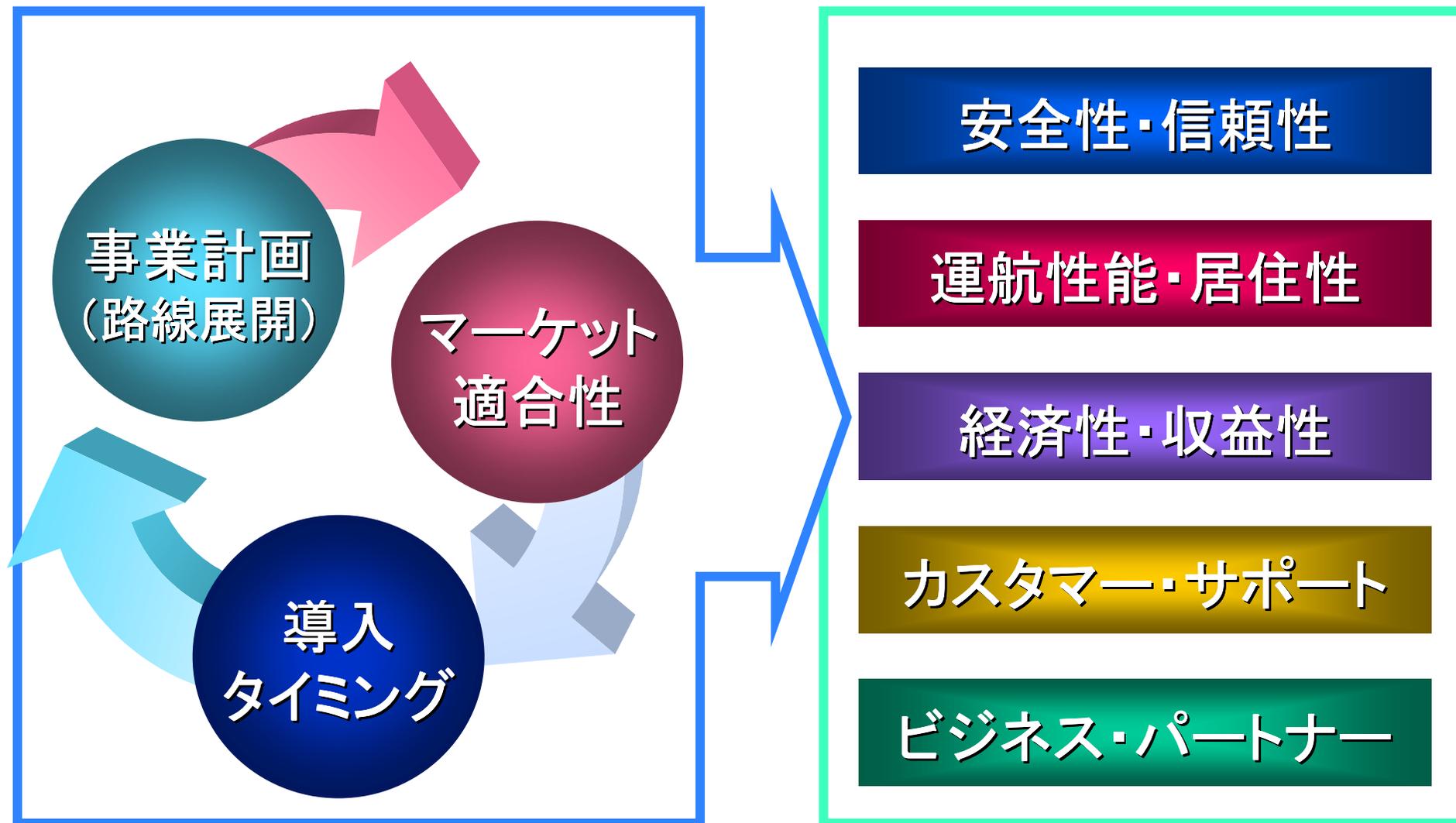
➤ 機材更新の推進

- 経年劣化に伴うコスト増(燃料費・整備費)の抑制
- マーケットにおける競争力の維持(居住性等)

➤ 企業体力

- 新機種の戦略的導入によるキャッシュフロー増大

エアラインの視点



マーケット適合性



➤ 市場競争力

- 導入時における競合機種との優位性
- 派生型(ファミリー)開発への対応力

➤ 旅客ニーズへの対応

- 快適性の追求(湿度コントロール・静けさの追求)
- 多様化するニーズに対応したレイアウト変更
- 持ち込み手荷物への対応(ローラーバック収納)

導入タイミング



➤ 導入計画と開発時期

- 羽田再拡張に伴う事業拡大とのマッチング
- 経年劣化に伴う機材更新時期とのマッチング
- 導入時期とのミスマッチに伴うバックアップ

➤ 既存機種からの移行

- 機種構成の最適化
- スムーズな生産体制の構築
- リードタイム(運航乗務員・整備士養成等)の確保



➤ 既存機種

- 安全性 事故・インシデント実績等
- 信頼性 定時出発率実績・技術対策実績

➤ 新機種開発

- 安全性 デザインコンセプト
- 信頼性 技術革新(新技術導入)
定時出発率の目標と達成へのプラン

運航性能 I



➤ 搭載能力・航続性能

- 旅客に加えて貨物のキャパシティも確保

➤ 離着陸性能

- 投入候補路線での制約（滑走路長・コンディション）

➤ 重心管理

- 旅客搭乗・貨物搭載に伴う制約



➤ 環境

- ICAO基準への適合状況（騒音・排出物）
- 地球温暖化への対応
- 空港周辺環境への対応

➤ 空港ハンドリング

- 搭乗時間・燃料搭載時間の短縮
- グランドハンドリングの効率化



➤ 過去の機種選定

- 機体価格及び運航費用

➤ 近年の機種選定

- 機体価格（及びエンジン価格）
- 運航費用（燃料費・整備費・空港使用料等）
- 装着エンジンの選択
- ライフサイクルコスト
- アフターマーケット（リセールバリュー等）

カスタマーサポート



➤ 導入サポート

- 生産体制の構築(運航乗務員・整備士等の養成)
- ファイナンスの充実
- ワランティ・ギャランティの充実

➤ プリ&アフターサービス

- 技術対策・不具合対応
- 部品供給・修理の充実
- ベンダーコントロールの充実



➤ 市場競争力の確立

- 強固なパートナーシップ
(エアライン⇔航空機メーカー⇔ベンダー)

